



特集 1 ICTを活用した取組の紹介

(地域情報の発信の強化－N－1)

『県内公共的施設の混雑状況実況実証実験』 (新潟県 IT & ITS 推進協議会)

【概要】

新潟県IT&ITS推進協議会^{*1}では、平成18年1月からLIVEカメラ画像の配信、公衆無線LANスポットマップの公開等を行っており、現在は新潟県の地域情報ポータルサイト『新潟ふるさと情報局^{*2}』(図1)にて県内地域情報デジタルコンテンツ配信による地域情報化を推進しています。

この他に、毎年度、豊かな県民生活の実現にITを効果的に活かしていくための調査研究を行っており、平成26年度の調査研究として、SNS上の混雑情報を収集した『県内公共的施設の混雑状況実況実証実験』を行いました。

* 1 県内地域情報化を推進する産学官連携組織

* 2 <http://navi.n-it-its.jp/>

【コラム】

SNSでは情報発信が容易である反面、信頼性が低い情報や、既に古くなった情報が多く存在しており、SNSの活用においては、必要な情報を選択的に収集することが課題と言えます。

特に、防災分野では、内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室が発表したSNSを利用した情報収集を行うための「検索用語集^{*3}」や、独立行政法人情報通信研究機構が発表した対災害SNS情報分析システム「DISAANA（ディサーナ）^{*4}」をWeb上に試験公開するなど、利用法の検討が進んでいます。

* 3 http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/bousai.html

* 4 <http://disaana.jp>

当協議会においては、SNSから収集した情報を普段から利用できる方法として、『県内公共的施設の混雑状況実況』を提案し、株式会社新潟通信サービス^{*5}の協力のもと、Ushahidiプラットフォーム^{*6}を活用したシステムの構築を行いました。

* 5 問い合わせ先 (0254-21-1043)

* 6 <http://www.ushahidi.com/>

当システムは、公共施設の職員からの混雑情報発信を行うとともに、Twitterから公共施設の混雑状況に関連すると思われる情報（図書館が混んでいる、博物館で行列、公園は快適、会場で座れた、イベントが賑わっている、など）を自動的に収集し、地図上に掲載するものです。

また、当システムは、混雑状況以外にも収集する単語を変更することで、防災分野など他の用途に転用可能と考えており、イベント情報など、情報鮮度の劣化が早いイベントやセール情報を混雑情報と共に収集・発信することで、施設利用促進に活用できると考えております。

現在当システムは、株式会社新潟通信サービス^{*5}にて提供を行っております。



図1 新潟ふるさと情報局



図2 投稿された情報

〔問い合わせ先〕

- ・新潟県IT&ITS推進協議会事務局（新潟県情報政策課）
- ・電話番号：025-280-5106
- ・e-mail：ngt010090@pref.niigata.lg.jp